



2022夏六島インターーン報告会

一緒に楽しいことしませんか？

2022年夏、六島では2年ぶりにインターーン生2名を迎えて20日間のまちづくり協議会サポート事業を行っていました。

参加したのは、中川達也さん（明治大学3年・東京都在住）と原田安奈さん（名桜大3年・沖縄県在住）の2人。原田安奈さんの出身は地元笠岡諸島「白石島」。

2人は8月16日から20日間のインターーン生として、今年まちづくり協議会が取り組んでいる、移住者のためのガイドブック「六島の教科書づくり」のサポートをしていただきました。

9月4日（日）に最終報告会を公民館で開催し、教科書づくりの現状と、それぞれが感じた六島の魅力についてのプレゼンでした。

また、当日は「応援ツアーア」も組まれて、安奈さんの出身の白石島から公民館長さんをはじめ、後輩たち、ご両親など12名、笠岡からも12名の方々の参加をいただき、かなり密な報告会となりました。今年度、まちづくり協議会でのインターーンシップの予算化は出来きてなかったのですが、地域活動の勉強ということで、自費での参加で、島の方々の物心のサポートもありやり切った感のある報告でした。

子育て世代の移住を促進するために、職としての「地域おこし協力隊」、移住を検討するためのガイドブックが「六島の教科書」、もっと六島を知ってもらうために「灯台100周年」に合せて実施するイベントを企画しています。今回のインターーン生の発表からもっと六島自体の魅力を伝えないと移住先として知ってもらえないでは・・。こんないい島、いい人達なのにという想いを凄く感じることが出来ました。

今回の報告会に合せて、7月24日に島民皆で作り上げた「六島灯台100周年記念ポスター」の披露を吉川さんからZOOMを通じてしていただきました。「一緒に楽しいことしませんか？」というキャッチとみんなのそれぞれの役者ぶりの写真。島民が自ら島暮らしを楽しと感じ、発信することで新たな仲間をどんどん増やしたいものです。お二人ともご苦労様でした。今後の人生の中でこの六島の経験が何かの役に立てば幸いです。

